

兵庫県 一宮町商工会

お出かけはJAPAN ブランドの香りで

商工会と兵庫県
香協同組合（淡路市）
は、日本の香りを気
軽に楽しめるよう
と、アクセサリー感
覚の携帯お香セット
「招福の香 エンジ
エル・バグ」を開発
し、四月から発売した。



経済産業省が海外でも通用する日本製品のブラ
ンド化を進める「JAPANブランド育成事業」
の一環で、海外販売も視野に入れ、県などの補助
も得て開発してきたもの。

淡路市内の一五社がそれぞれ手がけたラベンダ
ーやサクラなど自慢の香りのお香は、手のひらに乗
る大きさの容器に好みのものを入れて携帯したり、
ストラップでバッグや携帯電話にぶら下げたりもで
きる。また、容器はマグネット付きなので、金属
板などにも張り付けられる。



愛らしい赤・青の容器は二個一組、巾着型のか
わいい小袋は白・ピンク・水色の三種類。一セッ
ト三〇〇〇
円で、淡路
市「パルシ
エ 香りの
館」で販売
中。

長野県 白馬商工会

座談会「外国人が見た白馬」を開催

外国人観光客の集客を図る白馬村で、
村の取り組みについて外国人から意見を聞
こうと、三月十三日、商工会と白馬イン
バウンド推進協議会が村内の外国人との
初の座談会「外国人が見た白馬」を開催
した。

オーストラリア、ニュージーランド、カ
ナダ、イギリスから来た九人は、村内で不
動産を営んだり宿泊施設を経営するな
ど全員が村内で働いている。

外国人が村に来て魅力に思うこととし
て、美しい北アルプスや里山の景観はもち

ろん、スキ
場の雪質・施
設の充実・リ
フト券の安さ
などをあげる
とともに、外
国メディアへ
の情報発信や
夏のイベント
についてな
ど、各種提案
が出された。



福島県 郡山地区商工会

地図入りポスターで桜の名所を紹介

地域を訪
れる観光客
に隠れた桜
の名所を知
ってもらお
うと、郡山
地区商工
会広域協
議会きらめ
き21研究会
（市内一二

商工会の青年部・女性部で構成。滝田賢
一郎（リーダー）がポスター「ぐるっと歩こ
う郡山〜桜紀行」を作成した。

開花に間に合うように、今年度事業
として大二〇〇枚、小五〇〇枚を印刷し、
公共施設や商工会の各事業所などに配布。
郡山の地図と二二商工会ごとに桜の名所
一七カ所を掲載している。

市役所に報告に訪れた滝田リーダーは
「お花見の参考に大いに活用してほしい」
と話していた。

山形県 商工会連合会

「産業観光」めざしツアー実施

中小企業庁の「地域資源×全国展開プロ
ジェクト」の採択を受け、県連が取り組む生
産現場と観光スポットを組み合わせた「産業
観光」の提案が本格的に動き始めた。

すでに二〇〇六年には、東京都新宿区早
稲田商店街と提携して「山形の厳選・健康
朝ご飯セット」（山形産の米・納豆・卵の詰
め合わせ）を販売。〇七年に、購入者の中
から抽選で二〇名を招待して生産現場を訪れ
るツアーを行っている。

今年二月には、県内・村山地域へ日帰り
観光する機会が多い仙台をターゲットに、仙
台市内の商店主に産品やサービスを目利き
してもらおうというツアーを実施。村山地域
はサクラ産地としても知られているが、
身近な生産現場を見てほしいとのねらいで、
既存の観光ルートにはのっていない店や場所
を選んだ。

寒河江町・住吉屋食品、朝日町・ワイン
工場、東根市・無添加漬物の寿屋寿香蔵、
河北町・紅花資料館などを訪れた参加者か
らは、「ワリバシを使わない経営方針や廃棄
物の処理など、環境や安全へのこだわりに感
銘した」「加工現場を知るとは消費者の意
識の高場にもつながる」と高い評価を得るこ
とができた。

県連では、参加者の声をもとに、村山地域
以外の新たな観光コースやアピールポイント
などをまとめていく予定だ。

富山県 商工会連合会・立山町・上市町・大山商工会

修験者キティちゃんプレゼント

県連と立山町・上市町・大山の三商工会は、立山山麓に位置する当地域の観光振興

トの案内、観光タクシーの受け付け・運行などを行っている。



と特産品の販売路拡大事業の一環として、HPで特産品の販売や観光スポット「キティちゃん」は各地で「ご当地キールダー」が作られている。当地では、立山信仰の修験者の服をまとい、頭には「まいどはや」（富山弁で「こんにちわ」の意味）と書いた鉢巻きを締めている。

特産品をネットで二〇〇〇円以上購入した人や観光タクシーの利用者には、人気キャラクター「キティちゃん」のキーホルダーをプレゼントしており、二月には東京・有楽町の「いきいき富山館」でも特産品購入者にプレゼントを行った。

栃木県 栗野商工会

「食害」イノシシが特産「食材」に!



店に呼びかけ、「栗野地区のいのしし料理の開発研究会」（田中俊一会長）を設立。八日には、会員となった三〇の飲食店店主や商工会関係者が集まり、一回目の研究会としてイノシシ料理の試食会を行った。

調理を担当したのは、会場となった太陽亭店主の藍田定男さん。捕獲したイノシシと地域内で飼育したイノシシの二種類の肉を使用し、地元食材をたっぷり使った鍋、ハンバーグ、メンチカツ、角煮、焼肉など約一〇種類のイノシシ料理が供された。

田中会長は「今後も研究を続け、秋祭りには新メニューを披露したいと思っています。肉を安定供給できるように、イノシシ飼育農家の育成にも協力していきます」と話している。

栗野地域ではイノシシによる農作物への被害が深刻な問題になっており、罾などを設置して駆除に取り組んでいるが、商工会は「食害」を地域の特産物に生かす方法はないかと、かねて埼玉の秩父などでイノシシ料理の視察などの研究を続けてきた。

その成果を生かし、三月七日、地域の飲食

沖縄県 恩納村商工会女性部

旧正月は高齢者におせちをお届け

商工会女性部（宇室久美子部長）は、旧正月の恒例として、一三年前から村内の八〇歳以上の一人暮らしの高齢者におせち料理を届けている。

今年も前日から仕込みを始め、当日一五時に完成し



たおせちは、今年の対象者一一人に温かいメッセージを添えて届けられた。

宇室部長は「皆さんの協力のおかげで続けてこられました。お年寄りの方々の喜ぶ顔が励みになってます」と話していた。

佐賀県 基山町商工会女性部

体験講座でやさらぎひん

商工会女性部（中村眞智子部長）は、人とのつながり、心のよりどころを提供しようとして「キャンパス 体験型講座」を開催することとした。地域の活性化をめざし、今後、年に数回実施する予定。

三月十日、その一回目として、地元のお茶店経営者・久保山勇さんが「心と体がホッとするおいしいお茶の入れ方」と題し、急須や

湯呑みを持参して集まった町内の商店主や主婦ら二五人に「ブロのひと工夫」をアドバイスした。

おいしいお茶を入れるための五つのポイント
— 水・温度・お湯の量・茶葉の量・注ぎまでの時間— に、洋品店を営む浜田黎子さんは「来店されたお客さんにもおいしいお茶を入れてあげたい」と話していた。